

各都道府県様との連携強化【地域連携協定】



『各都道府県様』



地域連携協定の締結



『弊社（PPIH）』

目的：対象都道府県様の産品販路拡大（海外輸出）

- ① 定期的なフェア開催などによる県産品の販路拡大
- ② 県産品のPB商品製造による販路拡大
- ③ 産地からの直接輸出物流網構築による販路拡大
- ④ 海外から産地への顧客誘致と活性化

生産者様と連携し、各地域と連携協定を締結



＜愛媛県＞

締結日：2020年9月11日

県内産地や県研究所と連携した海外輸出向け新商品開発やデジタルデータの活用を推進



＜鹿児島県＞

締結日：2020年10月12日

鹿児島県内港湾等からの輸出促進やフェアを通じた「KAGOSHIMA」の認知度向上を推進



＜熊本県＞

締結日：2020年10月20日

災害対応・災害からの創造的復興や観光と物産をキーワードにした地域振興を推進



＜和歌山県＞

締結日：2021年3月17日

関西空港からの物流網構築までを視野に入れ和歌山県産品の海外輸出を推進



＜沖縄県＞

締結日：2022年3月28日

沖縄県内港湾等からの輸出促進および沖縄県産品の販路拡大



＜札幌市＞

締結日：2022年10月21日

札幌市中央卸売市場を活用した輸出促進および北海道の原料を活用したスイーツの開発



2021年度 県産フェア開催実績

番号	フェア名称	開始日	終了日	日数	点数	SKU数	アイテム
1	愛媛フェア	2021/7/19	2021/11/30	134	48,046	135	加工食品
2	北海道	2021/8/10	2021/8/22	12	15,237	31	青果（メロン、野菜）
3	北海道	2021/8/14	2021/8/30	16	2,114	12	青果（メロン、野菜）
4	熊本フェア	2021/9/1	2021/12/31	121	49,654	160	加工食品
5	北海道	2021/9/11	2021/9/20	9	6,071	13	青果（メロン、野菜）
6	和歌山フェア	2021/11/1	2022/2/28	119	15,538	183	加工食品
7	東京水産物フェア	2021/11/10	2022/11/16	371	347	13	鮮魚
8	愛媛フェア	2021/11/11	2021/12/8	27	16,305	71	加工食品
9	鹿児島フェア	2022/1/1	2022/1/31	30	129,917	29	青果・鮮魚・精肉・総菜
10	鹿児島フェア	2022/1/1	2022/1/31	30	79,951	11	青果・鮮魚
11	鹿児島フェア	2022/1/1	2022/1/31	30	3,286	53	加工食品
12	鹿児島フェア	2022/1/1	2022/4/15	104	15,735	187	加工食品
13	鹿児島鮮選寿司フェア	2022/1/7	2022/1/31	24	15,790	7	鮮魚
14	沖縄惣菜フェア	2022/1/12	2022/2/3	22	386	17	惣菜
15	熊本いちごフェア	2022/2/1	2022/2/28	27	13,302	4	青果
16	鹿児島カンパチフェア	2022/2/1	2022/3/13	40	17,171	8	鮮魚
17	福島県フェア	2022/2/22	2022/3/13	19	1,302	48	加工食品
18	北海道フェア	2022/3/1	2022/5/31	91	18,076	135	加工食品
19	和歌山鮮選寿司フェア	2022/3/1	2022/3/31	30	1,560	4	鮮魚
20	北海道	2022/3/5	2022/4/30	56	7,739	68	加工食品
21	愛媛かんきつフェア	2022/3/15	2022/3/31	16	5,521	15	青果
22	北海道	2022/3/16	2022/4/30	45	3,998	77	加工食品
23	熊本フェア	2022/3/24	2022/4/20	27	17,230	65	加工食品
24	愛媛かんきつフェア	2022/4/1	2022/4/30	29	13,434	23	青果
25	沖縄もずくフェア	2022/4/11	2022/4/17	6			
26	和歌山フェア	2022/5/19	2022/6/15	27	11		
27	東北フェア	2022/5/30	2022/6/27	28	4		
28	和歌山梅フェア	2022/6/4	2022/7/10	36	3		
29	長野フェア	2022/6/16	2022/7/13	27	12		

2021年度(7/1-3/31)
全29回開催

各都道府県様との産品フェア開催実績

■ 愛媛県様産品フェア（香港3店舗2021年7月19日-2021年11月30日）



初回開催となったTMT店では、**単店で15,000点以上を販売**



137品目中89品目が香港初上陸

海外輸出への課題

■ 課題① 輸出サプライチェーンの構築



現在実証実験等を活用し、地方港/空港からの輸出を積極的に推進

実証実験にてコストのサポートがあり成立しているが、現時点でコストが見合わない地域も存在

＜今後の出荷拠点＞ ※検討中

北拠点：北海道

東拠点：関東・（仙台）

西拠点：神戸・志布志・（沖縄）

【地方港からの輸出課題】

輸出港（空港）	輸出形態	輸出対象商品	生産地	仕向国	ステータス	課題
石狩港	冷凍コンテナ	精肉	北海道	シンガポール	不定期実施	荷量が増加しない。スライス肉等の加工済商品も輸出可能になれば、輸出商品の幅が広がる。
	冷凍コンテナ	鮮魚冷凍品	北海道	シンガポール	不定期実施	物量及び取り扱いアイテムが増加しない。
	リーファーコンテナ	青果	北海道	香港	不定期実施	香港への直行便はないが2日遅れ程度で到着し品質に問題はない。釜山経由。CAコンテナが利用できれば各国への提案もできるためCAコンテナの常設が望ましい。
平和島港	CAコンテナ	青果各種	日本各地	各国	定期実施	日本各地からの集荷により、横持コストの負担増に加え、収穫からのタイムラグが発生する
	冷凍コンテナ	鮮魚冷凍品	日本各地	各国	定期実施	日本各地からの集荷により、横持コストの負担増
成田空港	空輸	鮮魚品	日本各地	各国	定期実施	羽田空港本格稼働までは成田への横持コストが発生
	空輸	果実	日本各地	各国	不定期実施	羽田空港本格稼働までは成田への横持コストが発生
横浜港	CAコンテナ	果実	日本各地	各国	定期実施	日本各地からの集荷により、横持コストの負担増に加え、収穫からのタイムラグが発生する
	リーファーコンテナ	りんご	青森	各国	定期実施	青森からの横持コストが発生（八戸に運ぶよりはコストは安い）
関西空港	空輸	鮮魚品	和歌山	香港	不定期実施	生産地開拓が未実施のため、物量が乏しい
神戸港	冷凍コンテナ	精肉	鹿児島	香港	定期実施	船便が不安定で遅延及び抜港が多い。スライス肉等の加工済商品も輸出可能になれば、輸出商品の幅が広がる。
松山港	ドライコンテナ	鮮魚ドライ品	愛媛他	各国	定期実施	アジア各国への輸出は可だが、規制と物量の問題でUSAへの輸出が出来ていない
	CAコンテナ	柑橘・野菜	四国	シンガポール	トライアル	松山港付近に冷蔵倉庫が少ないため保管費用の相場が高い
福岡空港	空輸	いちご	熊本	各国	定期実施	福岡空港-バンコク・マレーシアへの直行便がないため品質の劣化が懸念される。台北経由。
志布志港	CAコンテナ	青果各種	鹿児島	シンガポール	トライアル	CAへの早い積込は可能であるが、それが不要の冷凍品の場合フレートが倍以上かかる
沖縄	空輸（補助金活用）	青果各種	沖縄	シンガポール	不定期実施	補助金削減により利用回数減

レギュレーション対応事例-1

■メロンのアメリカ向け輸出

2021年11月全国で初めて 当社がアメリカにメロンを輸出！



(1個92ドル=約1万円にて販売)

茨城県産アールスメロン販売開始 3 日で完売
“価値”を伝えることで好評



資料提供

令和3年11月29日
茨城県営戦略部農産物輸出促進チーム

報道関係者各位

**全国初 米国本土に向けて
茨城県産メロンを輸出しました！**

茨城県では、令和3年11月8日に米国本土向けメロン輸出解禁が実現し、スピード感を持って、産地、輸出事業者等との商談マッチング支援に取り組んでまいりました。
その結果、JA常総ひかり、(株)バン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(本社：東京都目黒区)及び九州農産物通商(株)(本社：福岡市)と連携し、11月24日に本県産メロンを米国カリフォルニア州に輸出しました。
現地通関や品質確認後、現地時間11月26日から販売が開始されています。
なお、**輸出解禁後、日本から米国本土への輸出は本県が初めて**となります。

- 販売先：ロサンゼルス Tokyo Central Gardena 店
※国内で量販店ドン・キホーテ等を展開する(株)バン・パシフィック・インターナショナルホールディングスが米国にて展開する店舗
- 産地：JA常総ひかり
- 輸出数量：30玉(約1.3kg/玉) アールスメロン
- 販売開始：現地時間 11月26日(金) ※写真データの提供が可能です



左上: 輸出するメロンを持つ甲斐千代川地区メロン部会長
右上: 輸出するメロンの様子
右下: 現地店舗での販売の様子

【問合せ先】県営戦略部農産物輸出促進チーム

担当：掛札、笹沼、阿久津 TEL：029-301-3965 FAX：029-301-2859

みかんのタイ向け輸出

タイへの輸出条件

- (1) 生産地域の指定及び認可
- (2) 生産園地の登録
- (3) 選果こん包施設の登録
- (4) タイ側検査官による選果こん包施設等の確認
- (5) 収穫及び選果こん包作業
- (6) 輸出検査

上記に加えて、ミカンバエの検査が非常に厳しい。
日本では禁止されている薬物を使用した栽培が必須

地道な条件クリアが必要となり、
日本向け出荷分とタイ向け出荷分をしっかり
区別して栽培をしていく必要がある。

輸出までには、最低2～3年の日数が必要。

現在唯一タイに
輸出できる県は三重県様のみ。



今後、日本産みかんの“価値”を伝えていくため、他県様のみかんも取扱い、日本の様々な美味しいみかんを普及していきたいと考えております。
ぜひともご協力お願いいたします。

レギュレーション対応事例-3

■ 種苗輸出と現地栽培に関して

＜USA輸出 野菜主要品目リスト抜粋＞

輸出品目	主な植物 検疫条件	CA	HI	コメント
きゅうり		×	△	ハワイのみ可
とまと		×	△	ハワイのみ可
ミニとまと		×	△	ハワイのみ可
長ネギ		×	○	ハワイのみ可
大根	輸出禁止	×	○	ハワイのみ可
なす		×	○	ハワイのみ可
人参		×	○	ハワイのみ可
レタス	輸出禁止	×	×	輸出禁止
サニーレタス	輸出禁止	×	×	輸出禁止
リーフレタス	輸出禁止	×	×	輸出禁止
サラダ菜	輸出禁止	×	×	輸出禁止
キャベツ	輸出禁止	×	×	輸出禁止
ピーマン	輸出禁止	×	×	輸出禁止
かぼちゃ		×	×	輸出禁止
じゃが芋		×	×	輸出禁止
さつまい		×	×	輸出禁止

『海外現地栽培』の推進

■ カリフォルニア産

対象品目

ネギ・ししとう・カブ・かぼちゃ・キャベツ・
カリフローレ・ミニトマト

■ メキシコ産（テスト栽培）

対象品目

カリフローレ・大根・白菜・かぼちゃ・カブ・
キャベツ・ししとう・なす・ネギを少量栽培



現地の栽培の様子

日本種苗で日本品質の海外生産の検討が必要

**海外における人口増加・消費市場は拡大の一途
日本の良質な食材を海外輸出することは日本の生産環境のみ
ならず日本の生産者の皆様を守ることに繋がります**



**品質/味の両面で高いレベルを誇る日本産品は、価格に関わらず
世界のどの舞台でも、あらゆる顧客からニーズがあります**

**生産者・流通関係者そして我が国の発展に向けて
今後も国策に資すべく邁進して参ります**